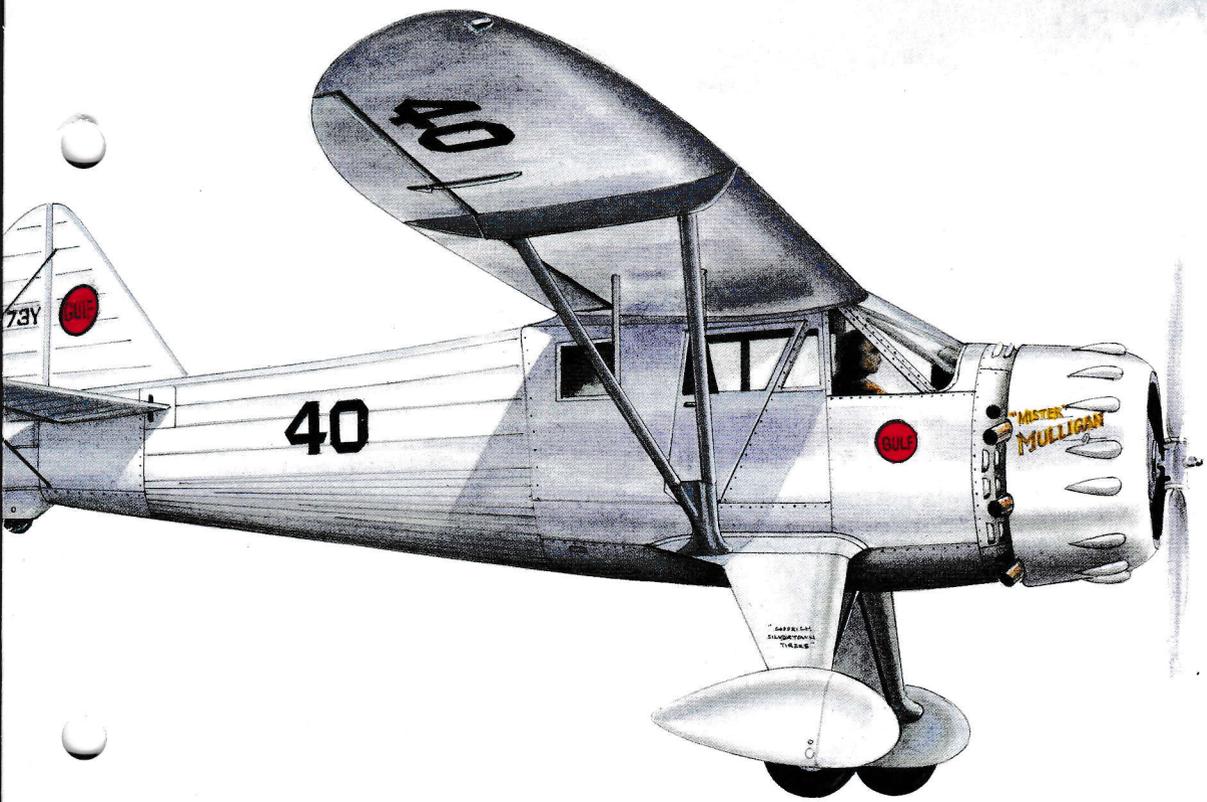


# WING NEWS



171

2001  
DEC.



**HONDA FLYING CLUB  
HONDA FLYING SCHOOL**

# コングラッチュレーションズ

教官から  
ひとつこと

## ○ファーストソロ



No.5724 倉本 聖志さん  
JA3938 H13.10.27

ファーストソロおめでとうございます。  
当日はR/W32、WIND CALMで多少曇ってはいましたが、初ソロには絶好のウェザーコンディションで技術的にも安定した見事なランディングでした。

これからも今の調子でがんばって自家用操縦士免許を目指して下さい。

伊藤教官



No.5705 伊藤 厚さん  
JA3937 H13.11.11

新潟県糸魚川市の遠方からの訓練で大変だと同情しております。

そのようなハンディーを乗り越えて今回、見事ソロに出られました。

今後、姿勢をしっかりとつかまれて技量の向上に努めてください。

本田教官

## 試験のお知らせ

特殊無線技士

申請受付：平成13年12月1日～12月20日消印有効

試験日：平成14年2月6日(水)13時30分～

※1月、2月の学科講習会は特殊無線試験対策の集中講座をおこないます。受験を考えている方はどうぞ御参加下さい。

# 第29回本田宗一郎杯争奪 飛行競技大会でした。

今回はクラブ大会初めての試みとして、競技を10月6日から20日まで2週間にわたって実施し（冬季競技会形式）最後の日曜日には競技を行わず、秋の祭典、ホンダフライングクラブ・オータム・フェスティバルと称して、表彰式のみを実施するお祭りにしました。お祭り当日は、ジェットヘリコプターによる体験飛行を100名無料でご招待、それにフライドチキンのバックにおにぎり、飲物、かき氷、綿菓子の食べ放題という空港ピクニックになりました。



今回競技への参加人数は、31名で、悪天候等により、2名がキャンセルとなりましたが、6名の方々が2回目のトライをされ、延べ人数は35名でした。

1～3位は、40点満点中、35点の同点でしたが、規定により、

- |     |           |
|-----|-----------|
| 優勝  | 武井 肇 様    |
| 賞品  | ラクーンコンポ   |
| 準優勝 | 宇梶 栄 様    |
| 賞品  | ラクーン24インチ |
| 3位  | 吉田 英孝 様   |
| 賞品  | 本田携帯発電機   |

を獲得されました。

尚、4位以下の方々は次の通りです。

- |     |        |
|-----|--------|
| 4位  | 清水 一徳様 |
| 5位  | 原田 博明様 |
| 6位  | 浅倉 幸策様 |
| 7位  | 市川 浩和様 |
| 8位  | 萩原 正三様 |
| 9位  | 新妻 豊太様 |
| 10位 | 青木 秀雄様 |

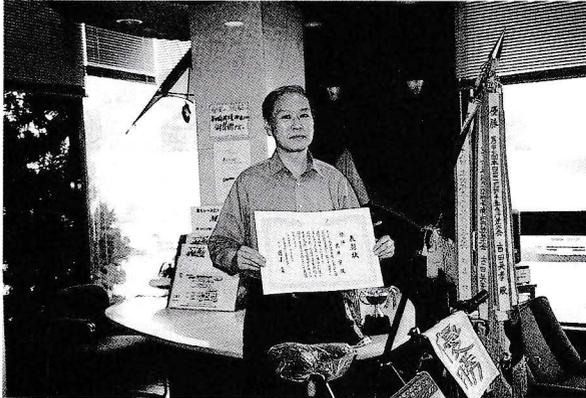




# JA3938 ありがとう

第29回クラブ大会優勝者

No.5714 武井 肇



10月20日クラブ大会の最終日の夕方、私の携帯電話が鳴る。「本田航空の若松ですが武井さん明日の表彰式なんか出席できませんか」、お願いの電話である。「え!! でも明日は出席しなかったのですが仕事があるので」でも明日はホンダオータムフェスティバル

である。御来場記念品もある。又、豪華昼食も出るとのこと、私も出席したかったが明日は仕事、でも表彰式? 私が何故、どうも気になる。

オータムフェスティバルの当日の日曜日、本田教官より私の不在中家に電話が入ったらしく、武井さんが“大会で優勝しました”とのこと、優勝? まさか。大澤教官に誘われ始めて参加した2月の大会では奮闘の甲斐無くブービー賞だったのに、まさか優勝とは、神様もたいしたものを与えて下さったものである。

大会を振り返ってみるとノーフラップ、270° 共に無我夢中のフライト、ラダーを踏む足はつっぱり、コントロールをにぎる手には汗が、でも不思議に何故か4回のランディング共にランウェイに吸い込まれるようにタッチダウン。訓練中はいつもノーフラップは接地点が延びてしまうのに。

大会を運営された本田航空(株)様及び上位賞品御提供の本田技研工業(株)様ありがとうございました。それにJA3938ありがとう!!



## UNIT. 2

## 練習生体験レポート

No.5710 高野 圭司

丘珠—帯広—釧路—女満別(STAY)—紋別—  
旭川—丘珠



オホーツク紋別空港で



山脈越え



帯広空港ファイナル



美帆峠上空



摩周湖上空

いつの日かライセンスを、と思っている練習生が大胆にも北海道クルーズに参加しての体験レポートです。メンバーは、早川さん、柴田さん、大澤教官の頼もしい皆さまです。8月22日夜、札幌集合。台風の動向が気になりますが——本田航空秘伝の携帯電話にてMETAR, TAFの確認、夜の札幌をさまよいながらもしっかりウェザーチェックすることが出来るのです。真夜中に、新千歳の気象室へ電話して台風の動向を確認。——24時間丁寧に対応してくれました。23日朝、降水はないが曇空。札幌丘珠空港へ。——飛行場灯台が点灯している——下層に雲がべったりのIMC。気象室でのブリーフィングより日高山脈の東は好天の兆し有りとの事。待機の時間を利用して諸先輩方、代替案について検討。——飛行前の段取りが大切です。予約してある川湯温泉へたどり着くためにIFRでの出発を選択。早川さんが左席。途中でVFRに変更してまずは帯広まで。——フライトプラン飛行方式Y イントウポジションしてさあテイクオフという時にクリアランスが来ない。ANKのYS-11がオンファイナルのボイスが聞こえてくる。？ タワーからの通報では、YS-11のランディングが確実にってからクリアランスを出すとのこと。——SIDとゴーアラウンドのからみなのでしょう。SIDに従って雲中を通過（もちろん初めての経験）雲上へ出て、行く手に雲がない事を確認してIFRをキャンセル。

千歳アプローチからのレーダーベクターで帯広をめざす。山脈を越えた頃広大な大地が姿を表す。街はずれにある航大も使用している空港へランディング。帯広から釧路までは私が左の席へ。帯広のエプロンをタクシー中、着陸料未払いですよとのタワーのボイスでのきつい一撃。タワーでありながら帯広市管理でした。（次の釧路空港はラジオでありながらCAB管理でした。）釧路上空では、インフォメーションゾーンを西から東

ヘクロスして湿原を見物してからリエントリーしてランディングするというインテンション。怪しげなボイスを瞬時に理解してくれた優しいおねえ様の声に救われ、照明施設点灯のリクエストにも応えていただきスカイクリアの状態CATⅢの光のじゅうたんの上をランディングする好運に恵まれました。——この地方は地表天気図で夏場よく黄色く塗る地域の端に当たってます。その後時間の都合で、中標津は残念ながらキャンセルして女満別へ向かい、レンタカーにて暗闇の国道を教官の天文走法併用にて、川湯国際ホテルに無事到着。手厚いもてなしと温泉を満喫したのであります。

24日 柴田さん左席でスカイクリアの女満別を出発。美幌峠上空を經由する。空港までの道中に立ち寄り見物してきた所を、今上空からこうして眺めている私達にチョッと感激。その後、屈斜路湖、摩周湖をまわり北上するとまもなくオホーツクの海が現れました。海岸線をたどりサロマ湖あたりでランウェイインサイト……でもなんか変？ ランウェイのマーキングを消しただけの旧紋別空港でした。初めてのRAG空港のボイスに聞き耳を立てつつ迷うことなく新紋別へランディング。その後、北見山地を飛び越えて旭川、富良野を經由して石狩平野から札幌丘珠空港へ向かったのであります。

思えばその昔、飛行機を見上げてはいつか憧れの大空へ……と思い、チョッと知恵がついてからは、エアバンド片手に空港で時を忘れて聞いて眺めていた自分でありましたが、この体験でますます意を新たに致しました。毎週末の大坂教官の座学で、安全飛行のための極意を教授していただき、そして実際に見知らぬ地域での運航と知識を結び付けるという大切な要素のそのごく一部分を経験することが出来ました。前回のミレミアムフライトにも参加させていただいたのですが、いずれも飛行の合間（おもに夜ですが）には普段聞けないような先輩方や教官の経験談、工夫のあれこれなども伝授していただく事も出来ました。通常の訓練プラスアルファの知識、自信（というか過信？）が身に付きます。——練習生の皆様もチャンスがあれば積極的に参加してみてください。クラブの企画は、とても温かく迎えてくれます。——



オホーツク海



旧紋別空港



新紋別空港



旭川空港で

27日、雨の朝、札幌で、『千と千尋の神隠し』を見た後、

山口さん「あの映画のテーマは何だろね？」

私 「愛。今の人が無くしたものへの哀愁。そこから環境問題……」

山口さん「……」

山口さん「腹減ってないけど、なんか食べる？」

私 「そうですね。」

山口さん「ラーメン屋があちこちにあるけど、客が多い方がうまいんだろうね。」

私 「そうですね。」

ナントか味噌ラーメンを食べながら、

山口さん「畠山さんはどうしているのかね？」

私 「また、冷しカレーラーメンでもたべてるんじゃないですか。」

雨の時計台。とてもステキでした。

山口さん「……」

私 「うまいですね。客も大分増えましたね。」

山口さん「ン。」

ラーメン屋近くの果物屋の前で、

私 「昨夜のおじいさんいませんね。」

山口さん「年だから、奥さんが代わりに出てるんだよ。」

私 「昨夜、メロン、3箱送ったけど、ちゃんと届きますかね。」

山口さん「届くだろ。」

私 「……」

山口さん「明日も雨だ。ホテルに帰ったら、早い便に変更するよ。」

私 「それがいいですね。畠山さんと僕は変更できない切符です。」

28日、雨の夕暮れ、千歳空港の、とあるレストランで、

山口さん「この生ビールのジョッキ、生臭いね。」

私 「チビー。」「そうですね。」「少し、ヌルツとしていいる。」

「あっ、おねーさん、ちょっと……」

責任者 「大変失礼しました。ビールの御代は結構ですので……」



私には花が似合うそうです。雨の大通り公園。



礼文島から札幌へ機長山口さん。



風はサハリンから…礼文島にて。

山口さん「少し飲んじゃったから、金は払うよ。」

私 「……」

レストランを出たところで、木彫りの展示即売会をやっていた。

山口さん「高価だけどさっき見た入り口のこの鷹は見事だ。」「……」「買うよ。」

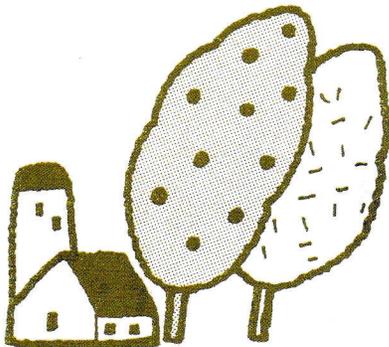
別の客 「この鷹、クレジットカードで良いですか？」

山口さん「良いものは誰が見ても良いんだよ。」

私 「そろそろチェックインしませんか？」

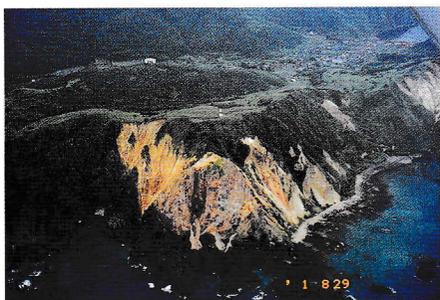
……………頭の中は、天気と飛行機のことではいっぱいなのに、一言も口にできなかったせいか、胸焼けがしてきた。……………

- UNIT 3 : 26日 (日) ・札幌→旭川 雲の切れ目の地文航法 (機長：畠山さん)
- ・旭川→礼文島 陸地on top.海上under cloud (私・益田)
  - ・礼文島→札幌 陸地を見ながら海上で南下 (機長：山口さん)
  - ・27日、28日、朝雨、昼雨、夜雨。

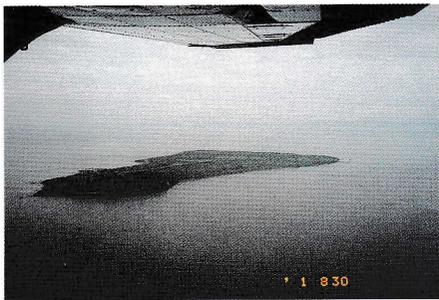


2001 8 26

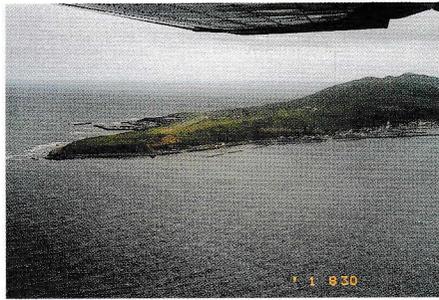
礼文島の上空だけかすかに晴れ。



軽く腕試し積丹半島



平らな天売島



礼文島へアプローチR/W14

## UNIT. 4

## 「北海道初秋の味覚フライト」

No.1963 吉田 秀一

### 丘珠—礼文—稚内—旭川—丘珠

“UNIT 4”のメンバーは「北海道・初秋の味覚フライト」を計画。

8月29日、丹羽さんと私（吉田）は早朝千歳空港へ向けエアラインで出発。南寄りの風が吹き、千歳はRain Shower。しかし丘珠はまずまずで、初日は腕試しとして積丹半島へ。夜には仕事の都合でおくれて参加の武井さんと合流。明日からのフライトの成功を祈り、まずはススキノで北海道の味覚を堪能する。

8月30日、丘珠空港の親切な気象担当官より、“西海岸が比較的天気が良い”とのアドバイスをうけ、礼文島行きを決定する。

トップバッター武井PICは、石狩湾から西海岸コースとラインでフライトプランを計画し、Destination礼文島(RJCR)でTake OFF。石狩湾から雄冬岬、天売、焼尻島上空を通過し、気流も安定して、礼文島R/W14に1時間30分後着陸。

この島での目的は、ウニ丼を腹いっぱい食べることであったが、ここではなんとタクシーが5台しかなく、この時期は貸し切り状態とのことで、しかたなく町（部落）まで歩くこととなる。そして、息もからがら……たどりついた船舶にはウニ丼を食べさせる店はなく、定食屋で中華を食べることを余儀なくさせさせる。（ちなみに“ウニ丼”は南の香深にあるとのこと）

2番バッター吉田は、礼文島(RJCR)からノシャップ岬と宗谷岬の“岬めぐりフライト”



日本最北端の空宗谷岬



美人気象官現われる



稚内AP TAKE OFF !



これぞ北海道サロベツ原野



人造湖未鞠内湖



北海道の真中、上川盆地

を計画。日本最北端の島（礼文島）および最北端の地ならぬ空をフライトし、いつかは最南端へ……と思いを胸に稚内空港(RJCW)R/W08へと着陸。

3番バッターの丹羽PICは、女満別空港へと検討したが、北国美人気象官より「東海岸の天候が良くない」との情報もらい、尚かつ燃料の問題もあり、Destination旭川空港(RJEC)へ変更。元国鉄マンのPICは、銀河鉄道よろしく宗谷本線沿いにフライト。未鞠内湖（人造湖）から上川盆地へとアプローチをし、旭川空港(RJEC)R/W16へと着陸。

旭川では“羊肉（ラム肉）を食べよう”という若松教官の強いリクエストにより、「松尾ジンギスカン」へとくり出す。もうもうと煙をあげる部屋の中で、ジンギスカンとビールで乾杯！ 夜食に「山頭火ラーメン」を……と思っていたが、いつの間にか眠気にさそわれて……

若松教官、約束しながらすっぱかしてごめんなさい。

8月31日の最終日は、大雪山を越えて帯広へ……と計画するも、またまた天気の子にみはなされ、とりあえず丘珠空港(RJCO)へ昼食のためにTake OFF。

最後の昼食は豪勢に高級ホテルの洋食バイキング。ここで若松教官は、北海道名物——アイスクリームを30個以上もペロリとたいらげた。（証拠写真をパチリ!!）

しめくくりは、札幌上空フライト。都市と山並が見事に調和した景色と、宮の森ジャンプ（70m級ジャンプ台）——冬期オリンピックで3本の日の丸が上がった——を横に見て、また飛びにくるぞ〜〜と思いをこめて、札幌の街を後にしました。

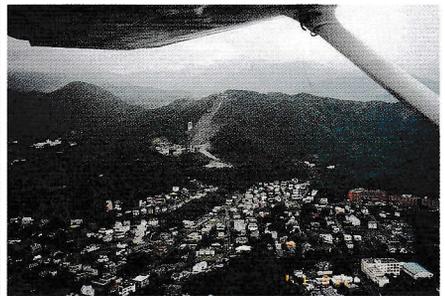
紙面をお借りして、教官の若松さん、同行させていただいた丹羽さん、武井さん、および関係者の皆様にお礼申し上げます。



ユニット4メンバー達



山と緑の調和がすばらしい札幌



日ノ丸飛行隊宮ノ森ジャンプ

## UNIT. 5

# デッカイ道FLT TOUR

No.1532 原 武志

- ・メンバー 米島 邁、瀬沼弘一、原 武志
- ・セフティーP 若松 洋
- ・日程 9月1日(土) 札幌、利尻、(稚内)旭川  
2日(日) 旭川、ダイコロ愛別、紋別、(女満別)、中標津、釧路、札幌  
3日(月) 札幌、(神威岬)、(積丹)、札幌  
( ) 経由地、他はL/D空港

・FLIGHT時間 約8時間

ツアー2日目。旭川T/OFF後釧路空港までは計画通り。釧路DEP後、帯広へ寄り札幌へと計画したが、帯広はVISI 4,900、BKN015のため、N・W-BANDで札幌空港へ直行することとした。

釧路離陸後5マイル北辺りからVMCギリギリのFLIGHTとなる。時折薄日が射すコンディションの中、ホライゾン、C/H、VOR CDIに神経を集中、そしてコパイ席の若松さんを頼りにMAXパワー-2,700RPM、ひたすら8,500FTへと上昇を続ける。……が、時折山岳波の影響か昇降計が振切れたり0を指す。オントップはいつになることやら、肩に力が入る。

20数分経過したであろうか。パッと目の前が開け太陽に輝くSTの純白の絨毯と紺碧の空が我々を迎えてくれた。気流も安定。ホッと一息。はるか前方の突出した雲を迂回し、雲の上を滑るように1時間ほどのフライトが続く。

富良野を過ぎた辺りだろうか。雲もFEWとなり右手前に石狩川が黒く浮かび上がってきた。徐々に高度を下げながら、機首を札幌に向ける。



札幌丘珠A/P RWY32 T/OFF



利尻A/Pにて 愛機がポツンと(利尻富士は霧の中)



ユニット5のクルー



ALT300FTでローパス



宗谷岬日本最北端の地碑 左サイドに「世界平和」読めますか



旧オホーツク紋別空港

オホーツク海に沈む夕日を左手に札幌空港R/W32にL/Dした時、18時をまわっていた。

4人で愛機の繫留作業を済ませ空港管理事務所を後にしたとき、フライトの充足感と心地良い疲労感が全身を包んでいた。

今夜は札幌。ホテルに帰投するやシャワーの時間も惜しく、若松氏お奨めの海鮮料理屋へダイレクト。飲むほどに酔うほどに1次会でクローズできず、ロング・ナイトになったことは言うまでもない。

大農牧地帯の平野を引裂き悠然と流れる石狩川、摩周湖の神秘的な水の色、濃淡の緑が織り成す広大な釧路原野のモザイク模様、歌で馴染みのサロマ湖等々、駆け足で垣間見た北の大地であったがそれぞれの風景が心に印象深く残っている。

安全運航で北の空を満喫できたのは、アフター5においても気を緩めず？ にお付き合い頂いた若松さん、後方支援して下さった本田航空社員の皆さん、クラブ員各位のお陰と厚く御礼申し上げます。

またいつの日か、違った表情で迎えてくれるであろう北海道の陸と空を夢見ながら……。



ダイコロ愛別空港（設備もすばらしい）



女満別A/P 向こうは、網走湖



旭川A/P レフトベース JASの奪取300TAXI中



（霧の？）摩周湖 展望台方向から



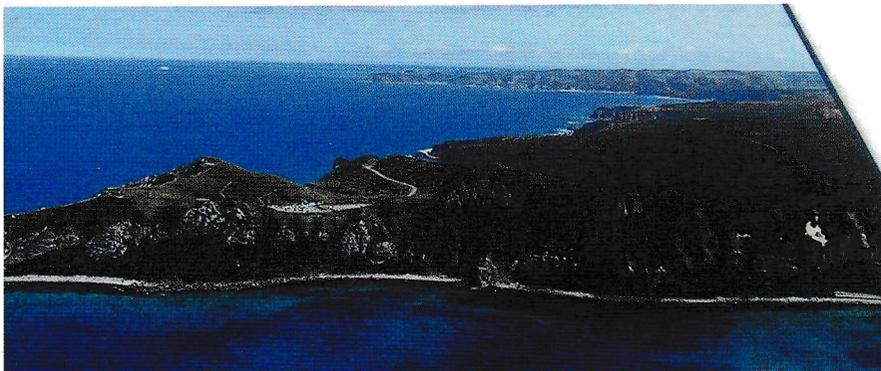
中標津A/P オンファイナル



釧路A/P ターニングファイナル



雲海を滑るように…札幌に向けて(ALT8,500)



神威岬から積凡岬を望む

# USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています (敬称略)

1 月中に切れる方	2 月中に切れる方
井上比呂司 H14.01.20	岡 しのぶ H14.02.08
伊藤斗志也 H14.01.23	湯田 雄幸 H14.02.21
椎田 博人 H14.01.23	

## ●申請に必要なもの

住民票 (本籍地記載のもの、発行3ヶ月以内) ..... 1通  
 練習許可申請書 (身体検査を受診する病院でお受取り下さい) ..... 1通

⑨申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さずに書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印、又はこれに類似した印は不可。

⑩身体検査は有効期限の1カ月前以降に受けて下さい。申請書の有効期限は1カ月です。手続きに時間がかかる場合がありますので受診したらすぐに、遅くとも有効期限の10日前までに、申請をお願いします。

写真 (インスタントは不可) たて3cm×よこ2.5cm ..... 2枚

⑪写真の裏側にならず記名して下さい。

申請諸費用 ..... 3,200円

## ●身体検査の受診場所 (事前連絡が必要です。)

宮入内科 (有楽町交通会館) 03-3211-4845

中溝クリニック (港区芝浦東芝ビル4F) 03-3452-4468

国際空港診療所 (羽田空港全日空到着ロビー近く) 03-5757-1122

はごろも内科・小児科 (立川市羽衣町1-16-9) 042-522-5234

※7月に移転しました。御注意下さい。

東海大学医学部付属東京病院 (渋谷区代々木1-2-5) 03-3370-2321



## 新入会員紹介

(敬称略)

ホンダフライングクラブ

2003 服部 浩行 H13.10.1

2004 原 範江 H13.10.27

2005 鶴川 健司 H13.10.28

(フライングスクールなし)

# 学 科 講 習

1 月	
日 付	科 目
11日 (金)	特殊無線 1
13日 (日)	運航一般 3
20日 (日)	特殊無線 2
25日 (金)	特殊無線 3
27日 (日)	空中操作 1

2 月	
日 付	科 目
3日 (日)	特殊無線 4
8日 (金)	法 規 2
10日 (日)	運航一般 4
17日 (日)	気 象 3
22日 (金)	航 法 6
24日 (日)	空中操作 2

学科講習受講を希望される方は当日のPM 5 : 30までに運航部 (049-299-1105) まで御連絡下さい。連絡が無い場合休講となります。お手数ですがよろしくお願いします。

## 携行品

航空法規：航空法 AIM 1/50万チャート

航空気象：新・天気予報の手引 AIM

航空通信：AIM VFR交話法

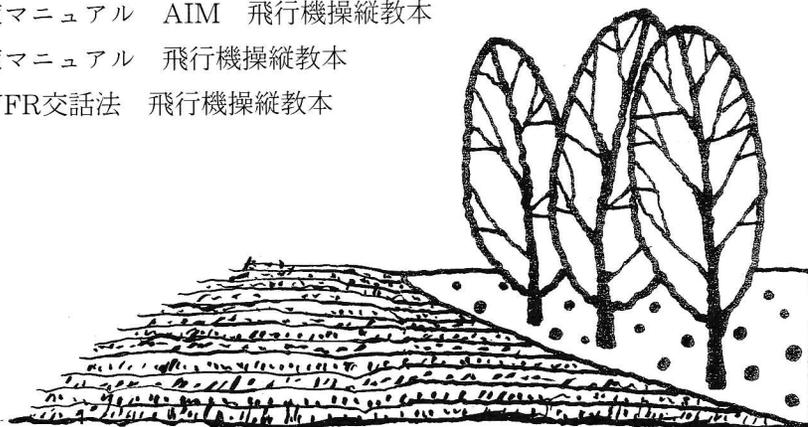
航空工学：航空工学入門 セスナ172取扱法又はセスナ172飛行規程、(あればシステム・スタディ)

航 法：基礎航法教室 航法計算盤の使い方 コンピューター プロッター  
1/50万チャート 航法計画書の作り方と飛行の仕方  
ナビゲーションログ 操縦訓練マニュアル

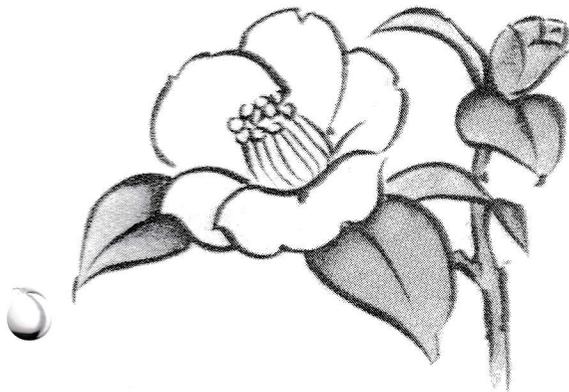
計器飛行：操縦訓練マニュアル AIM 飛行機操縦教本

空中操作：操縦訓練マニュアル 飛行機操縦教本

運航一般：AIM VFR交話法 飛行機操縦教本



## クラブ員の皆様へ



○今年も12月号になりました。2001年は本田航空としては大きな事故はなく平和な一年となりました。しかし世界的にみると、空中衝突やテロなどの大事故・事件がありました。前例のない出来事に、様々な制度が変わりました。慣れない面もあり御迷惑をおかけしております。来年は平和な一年であることを願ってやみません。

○本田航空ではホンダフライングスクール入会希望者及びホンダ四輪車・二輪車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員、スクール生の方に、成約の場合無料飛行券を進呈しております。(クラブ員本人が御購入される場合を含む) ぜひお知らせ下さい。

### ウィングニュース 171号

発行者/ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

Tel 049-299-1105(運航部)

表紙イラスト/板橋 繁男

## 翼を忘れていませんか!?

青い大空を自由に羽ばたきたかった頃の気持ち、やっと獲ったライセンス、しまい込んでいませんか?。ホンダフライング・クラブ/スクールでは貴方が忘れかけている情熱を思い出し、再び強く羽ばたくお手伝いをいたします。

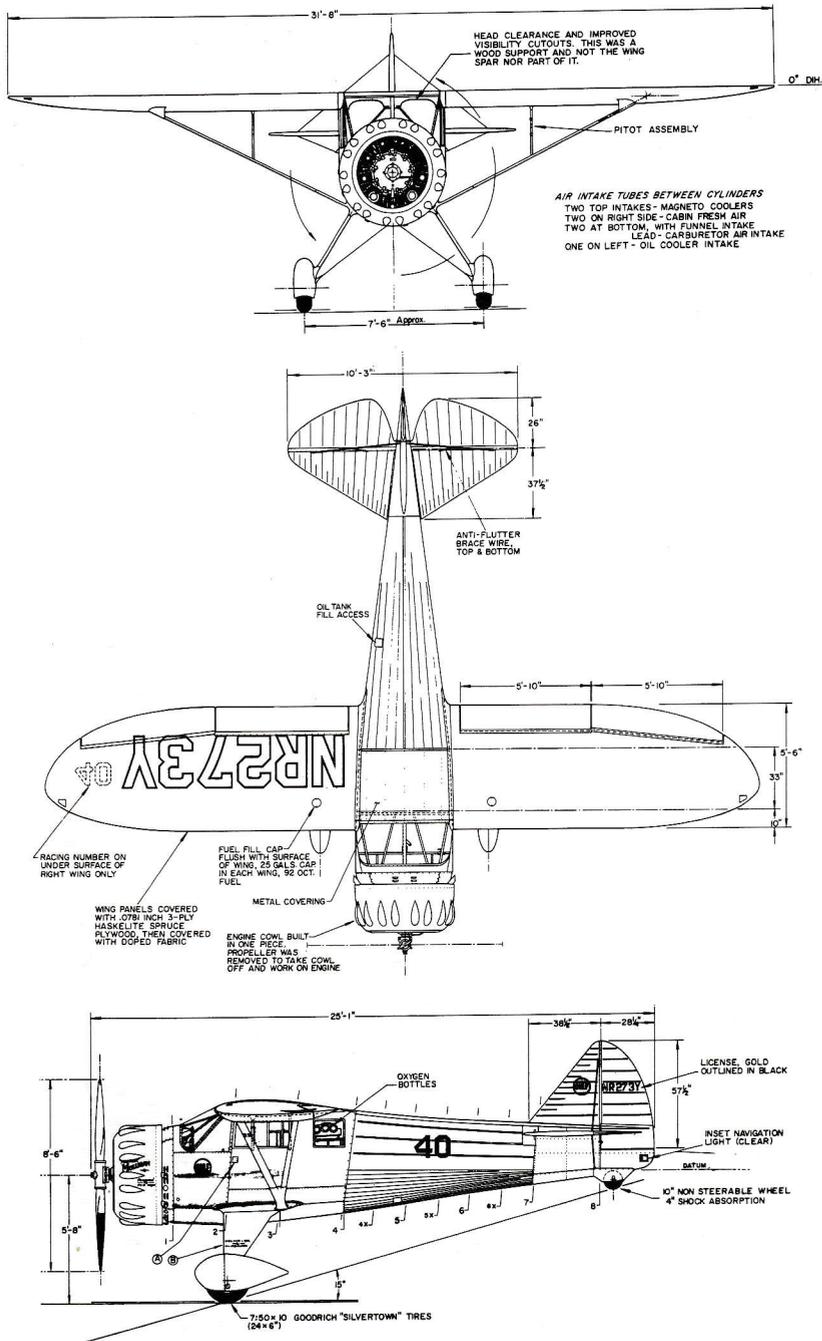
ホンダエアポートは...

- 都心より約40km
- 訓練空域内にある夜間照明施設付きの自社飛行場
- 豊富な訓練機 (C172×6、R22×1、AS350×2、SA365×1)
- 充実した地上施設 (アドバイザリー局、衛星通信による気象及び航空情報、運航管理システム)
- 十分なスペースのブリーフィングルーム (全6室) とクラブルーム
- 経験豊富な教官9名が親切に対応



- \*安全で効率的な訓練をお約束いたします。
- \*自家用・事業用操縦士コース、国内・国外ライセンスリフレッシュコースがあり、飛行機・ヘリコプターともOK。もちろんご希望に応じたコースも設定できます。

本田航空 〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷53-1  
HP <http://www.honda-air.co.jp./index-b.html>  
クラブ用メールアドレス [honda@aya.or.jp](mailto:honda@aya.or.jp)



## HOWARD DGA-6 "MISTER MULLIGAN" ハワード DGA-6 "ミスター マリガン"号

自重：2600lbs, 全備重量：5300lbs.

主翼面積：150.7sq.ft. 翼面荷重：39lbs/sq.ft.

馬力荷重：lbs/h.p.

最大速度：287mph, S.L., 巡航速度231mph, S.L.

動力：プラット & ホイットニー ワスプ SE スペシャル

500馬力 at 2200rpm. プロトタイプ初飛行1934年.

密閉式操縦席を持つ、単葉の“ミスター マリガン”は、1935年にトンプソン杯、ベンディックス杯の両レースに優勝している。後にこの機は商業用機に発展している。このような例は稀である。

